

寒い冬

昆虫たちはどこでどうやって過ごす？

皆さん、年末の大掃除はされましたか？

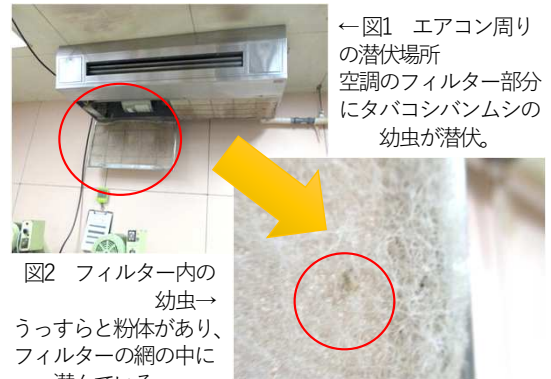
虫達も一緒に一掃できましたでしょうか？貯蔵穀物害虫の代表格タバコシバンムシ、繊維害虫の代表格ヒメマルカツオブシムシは、冬の間、幼虫で越冬し、春先に蛹となり成虫になります。そのため、一見、最近は何もいないなあと思いがちですが、虫たちは春に備えて準備しているかもしれません。

例えば、タバコシバンムシはどんなところに隠れているのでしょうか？もちろん粉だまりが中心にはなりますが、中にはエアコンのフィルターや遊休設備、ダクトや配電盤の中などに潜んでいること

があります。タバコシバンムシは、終齢幼虫で越冬し、じっとしていてもうろろと動き回ることはありません。一方、ヒメマルカツオブシムシも終齢幼虫で越冬しますが、周りが暖かければ元気よく動き回ることもあります。垂直方向に壁を登ったり、天井に張り付いたりすることもでき、そのため、壁と壁の角や高い部分（高所の機械の上部や梯子など）にくっついていることもあります。

冬の大掃除は、春先にならないと効果を実感しにくいですが、一掃しそこねた虫が逃げた先で越冬することが難しく、他の季節に比べて効果てきめんです。

弊社では、高所除塵清掃やダクト



←図1 エアコン周りの潜伏場所
空調のフィルター部分にタバコシバンムシの幼虫が潜伏。

図2 フィルター内の幼虫→
うっすらと粉体があり、
フィルターの網の中に
潜んでいる。



←図3 壁に掴まるヒメマルカツオブシムシ
繊維害虫と呼ばれるが、
人の髪の毛や埃等を食
べ、わりとどこにでも
生息している。

図4 ヒメマルカツオブシムシ→
毛むくじらの茶色
い塊があると要注意。



清掃、ゼネラルクリーニング、エアコンクリーニングなど、お客様に合わせた提案を行います。自分たちでは難しいなあと思うところは弊社にご相談ください。

今月の

豆知識

桃太郎伝説はやっぱり岡山？

弊社の本社は岡山にあり、やっぱり岡山といえば桃太郎。そこで、岡山の桃太郎伝説に関する逸話や観光地をご紹介します。

諸説ありますが、岡山ではこのような物語で語られているようです。桃太郎こと吉備津彦命（きびつひこのみこと）が、**鬼城山（鬼ノ城）**を住処に悪さをする鬼こと温羅（うら）を退治しようと左目を矢でうち、たまたま温羅は雉に化け、命（みこと）は鷹になり追いかけてきました。さらに、温羅は目から流れた血の川（**血吸川**）の中に鯉に化けて逃げようとしたが、

命は鵜に化け温羅を食い上げ退治（**鯉喰神社**）し、温羅の首は**白山神社の首塚**にさらされました。その後、温羅が鬼ではなく製鉄などの技術をもたらした渡来人であるとわかり、命は温羅の霊と和解し、一緒により良い吉備の国を作っていくという物語になっています。

太文字のところは実際にある遺跡などです。また、命が祭られているとされる**吉備津彦神社**や**吉備津神社**、温羅の首が埋まっているとされる**温羅神社**等、上記以外にも桃太郎伝説ゆかりの地はたくさんありますので、お越しの際は寄られてみてはいかがでしょうか。



東洋産業株式会社

本社

岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点

大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢